

平成24年度 福岡市地下水汚染対策委員会議事録

平成24年11月30日(金) 10:00～
市役所15階第4会議室

○議事

1 委員長及び副委員長の改選について

島田委員長, 神野副委員長に決定

2 平成24年度継続監視調査新たに判明した地下水汚染について

◆委員の主な意見

【汚染の拡大した原因について】

- ・地下水位の上昇が汚染拡大に影響していることについては、降雨量の経年データ等があると推察しやすい。特に工事の前後に大量降雨等があれば、分かりやすい。
- ・マンション工事の際には、試掘だけでなく、基礎としてかなりの本数の杭を打つので、これにより、シルト層に穴を開けてしまい、降雨で砂層に汚染が拡散したのではないかと。
- ・周辺工事における杭打ちがどれくらいの本数、深さで行われているのかがわかると工事による影響がより明確になると思われる。
- ・時期的に考えると指定区域近隣での工事が起因となって地盤環境に変動が生じたことが、汚染拡大の原因のひとつである可能性が否定できない。ただし、どちらのマンション工事が影響しているのかを判断するのは難しい。

【今後の汚染の拡大について】

- ・モニタリングは季節変動を考慮して行うことにより一過性の汚染かどうかの判断材料となる。
- ・高濃度の土壌汚染があることから、今後も汚染範囲が拡大する可能性がある。
- ・透水性の高い砂層を通して汚染が拡大している可能性も否定できない。
- ・地下水の実流速・流向・勾配等についてデータを揃えると、汚染の拡大について大まかな予測が出来る。

【健康影響について】

- ・六価クロムで汚染された水が原因で健康被害が問題になったことはなく、水質汚染による健康被害は考えにくい。
- ・汚染井戸については、雑用水として使用することで健康被害が生じる可能性はほとんどないと考えられる。
- ・基準値を若干超えた水を飲用したことで、すぐに健康に影響が生じるものではない。

◆環境保全課の今後の対応について

- ・モニタリング等データの収集に努め、その結果を次回の委員会で報告する。

3 平成24年度概況調査判明した地下水汚染について

◆委員の主な意見

- ・アンモニアが検出されていないことから、過去の田畑への過剰な窒素肥料の施肥や養鶏場における家畜排せつ物が主な原因であるという事務局の判断は妥当と考えられる。